

## 平成28年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量

— 西洋なしの収穫量は、前年産に比べ6%増加、  
かきは同4%減少、くりは同1%増加 —

### 【調査結果の概要】

#### 1 西洋なし

全国の結果樹面積（注）は1,510haで、前年産並みとなった。

収穫量は3万1,000t、出荷量は2万7,300tで、前年産に比べそれぞれ1,800t（6%）、1,600t（6%）増加した。

#### 2 かき

全国の結果樹面積は2万400haで、前年産に比べ400ha（2%）減少した。

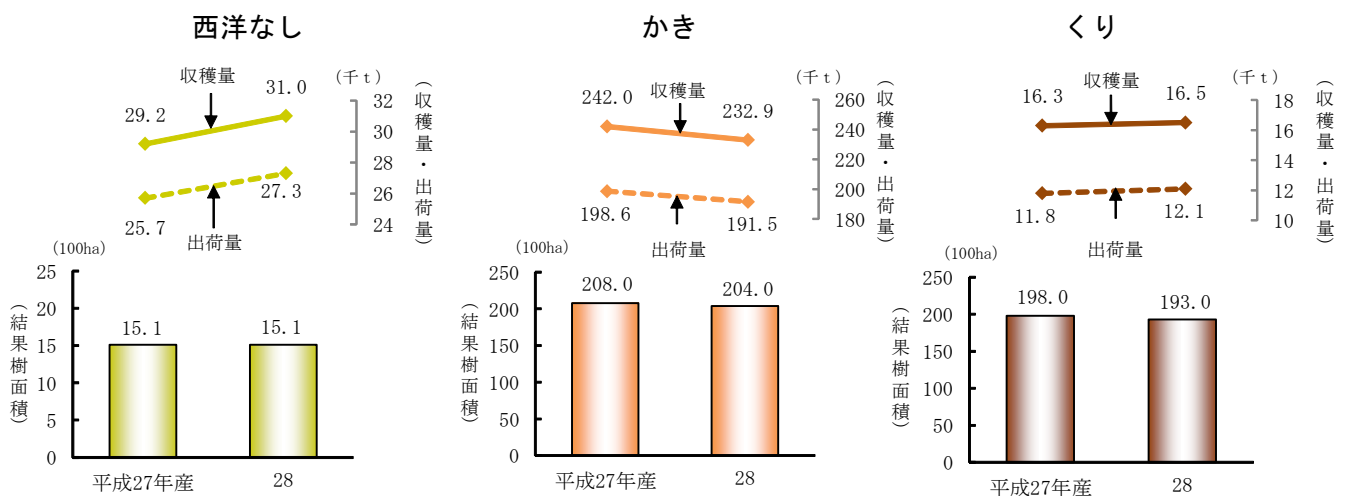
収穫量は23万2,900t、出荷量は19万1,500tで、前年産に比べそれぞれ9,100t（4%）、7,100t（4%）減少した。

#### 3 くり

全国の結果樹面積は1万9,300haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。

収穫量は1万6,500t、出荷量は1万2,100tで、前年産に比べそれぞれ200t（1%）、300t（3%）増加した。

図1 西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量（全国）



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページの「統計情報」から御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/toukei> 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

1 西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 19 年産	1,740	1,700	29,600	26,100
20	1,700	1,970	33,500	29,500
21	1,680	2,000	33,600	29,600
22	1,640	1,600	26,200	23,200
23	1,590	1,670	26,600	23,300
24	1,570	1,500	23,600	20,700
25	1,560	1,740	27,200	23,900
26	1,520	1,610	24,400	21,400
27	1,510	1,930	29,200	25,700
28 (概数)	1,510	2,050	31,000	27,300

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』（以下の統計表において同じ。）

2 かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

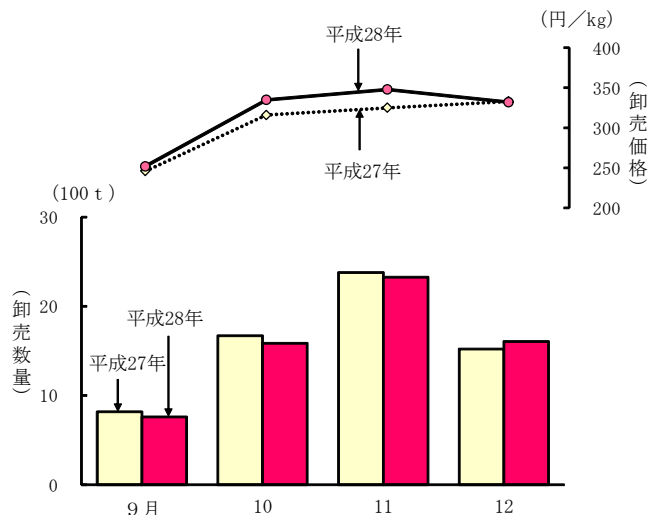
区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 19 年産	23,200	1,060	244,800	196,000
20	23,000	1,160	266,600	213,400
21	22,700	1,140	258,000	212,100
22	22,400	846	189,400	155,100
23	22,100	939	207,500	170,300
24	21,900	1,160	253,800	209,300
25	21,600	994	214,700	177,400
26	21,300	1,130	240,600	198,900
27	20,800	1,160	242,000	198,600
28 (概数)	20,400	1,140	232,900	191,500

3 くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 19 年産	23,000	96	22,100	15,600
20	22,500	112	25,300	18,300
21	22,100	98	21,700	15,600
22	21,700	108	23,500	17,100
23	21,400	89	19,100	13,800
24	21,000	100	20,900	15,300
25	20,600	102	21,000	15,500
26	20,200	106	21,400	16,000
27	19,800	82	16,300	11,800
28 (概数)	19,300	85	16,500	12,100

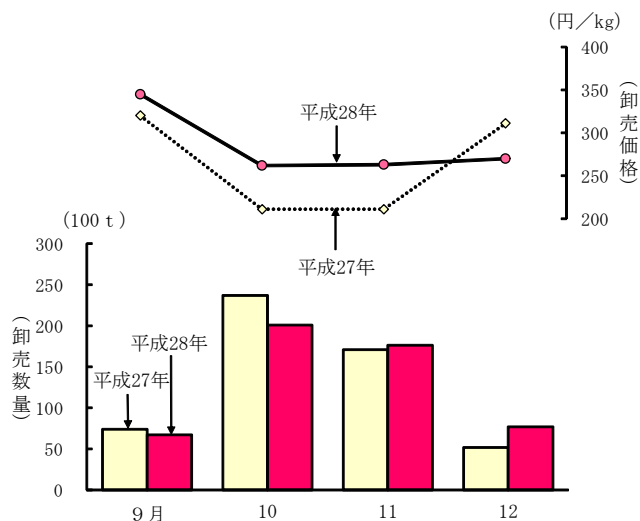
◎ 関連データ

1 西洋なしの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）

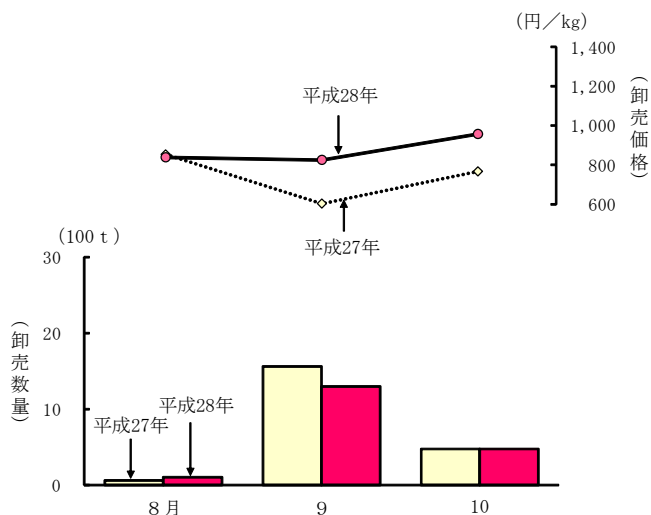


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」（2及び3のグラフにおいて同じ。）  
 注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を加算し算出したものである（2及び3のグラフにおいて同じ。）。

2 かきの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



3 くりの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



## 【調査結果】

### 1 西洋なし

(1) 全国の結果樹面積は1,510haで、前年産並みとなった。

(2) 全国の10a当たり収量は2,050kgで、前年産に比べ120kg（6%）上回った。

これは、山形県において開花期の天候に恵まれ着果数が多かったことに加え、果実の肥大も良好だったこと等による。

(3) 全国の収穫量は3万1,000t、出荷量は2万7,300tで、前年産に比べそれぞれ1,800t（6%）、1,600t（6%）増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図2 西洋なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

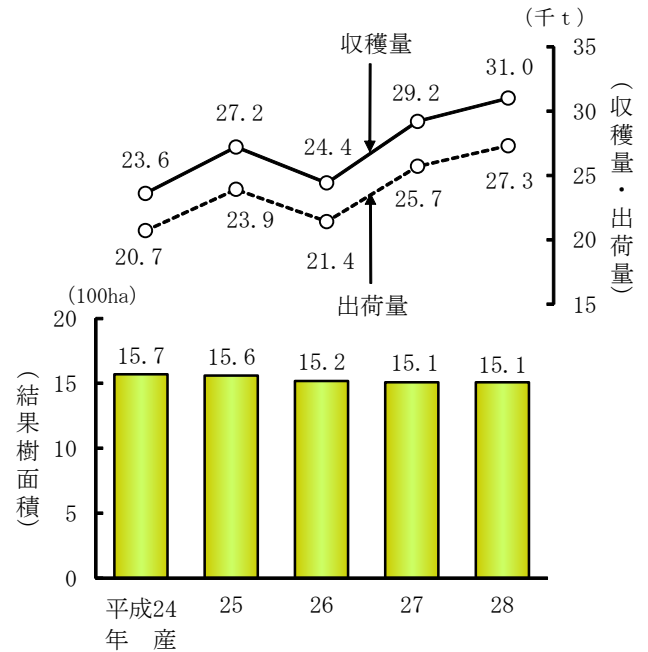
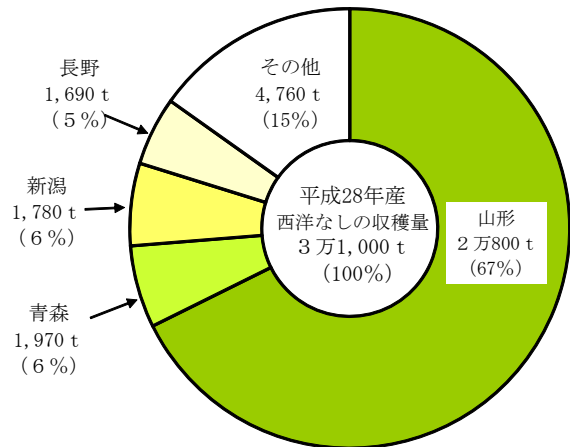


図3 西洋なしの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表1 平成28年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西洋なし	1,510	2,050	31,000	27,300	100	106	106	106

## 2 かき

- (1) 全国の結果樹面積は2万400haで、前年産に比べ400ha（2%）減少した。
- (2) 全国の10aあたり収量は1,140kgで、前年産に比べ20kg（2%）下回った。
- (3) 全国の収穫量は23万2,900t、出荷量は19万1,500tで、前年産に比べそれぞれ9,100t（4%）、7,100t（4%）減少した。
- (4) 都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が20%、奈良県が15%、福岡県、岐阜県及び愛知県がそれぞれ7%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図4 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

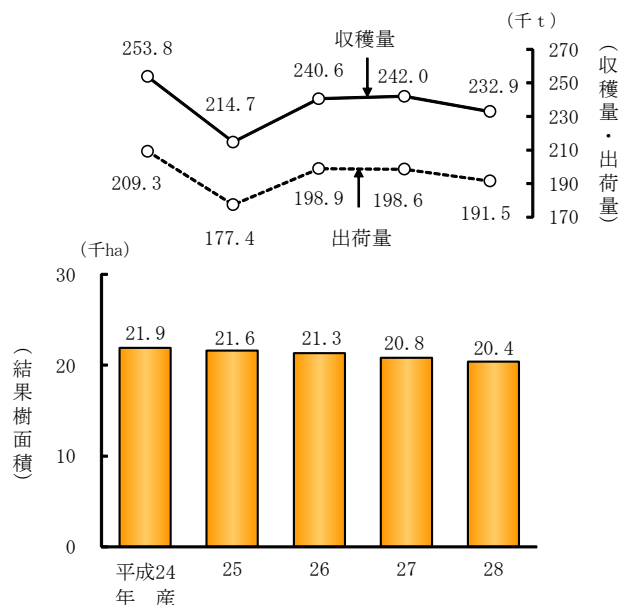
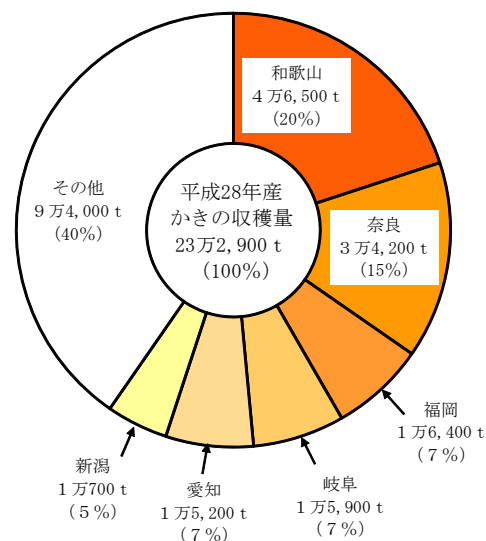


図5 かきの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表2 平成28年産かきの結果樹面積、10aあたり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10aあたり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
かき	20,400	1,140	232,900	191,500	98	98	96	96

### 3 くり

(1) 全国の結果樹面積は1万9,300haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

(2) 全国の10a当たり収量は85kgで、前年産に比べ3kg（4%）上回った。

(3) 全国の収穫量は1万6,500t、出荷量は1万2,100tで、前年産に比べそれぞれ200t（1%）、300t（3%）増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、茨城県が23%、熊本県が13%、愛媛県が10%、岐阜県が5%となっており、この4県で全国の約5割を占めている。

図6 くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

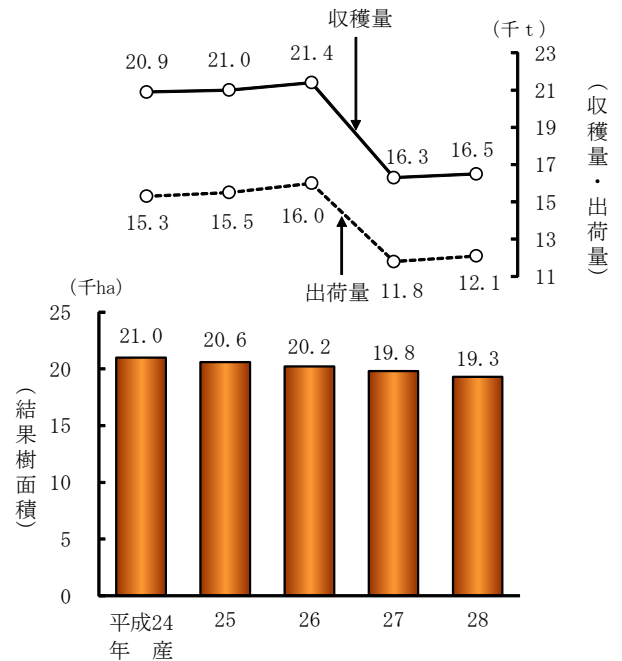
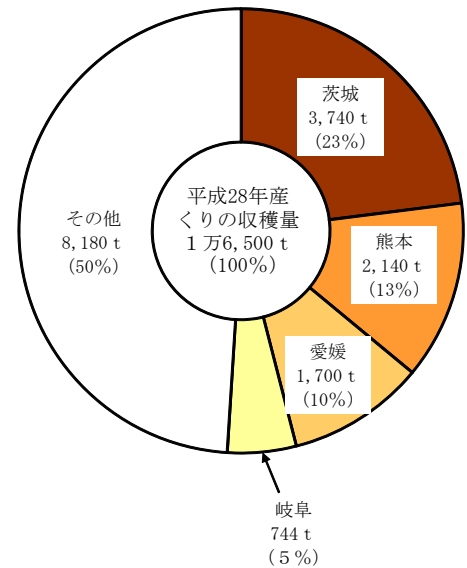


図7 くりの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表3 平成28年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
くり	19,300	85	16,500	12,100	97	104	101	103

## 【統計表】

### 1 平成28年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	1,510	2,050	31,000	27,300	100	106	106	106
うち 青森	141	1,400	1,970	1,570	101	94	94	95
山形	868	2,400	20,800	18,400	99	110	109	110
福島	38	1,870	711	643	100	101	101	102
新潟	107	1,660	1,780	1,570	101	100	101	101
長野	99	1,710	1,690	1,520	99	94	93	93

注：主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（2及び3の統計表において同じ。）。

### 2 平成28年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	20,400	1,140	232,900	191,500	98	98	96	96
うち 山形	878	894	7,850	6,360	98	106	103	104
福島	1,130	574	6,490	5,500	97	79	77	79
新潟	655	1,640	10,700	9,840	99	99	97	97
富山	283	550	1,560	1,130	100	98	98	97
石川	291	432	1,260	722	100	96	96	98
福井	135	646	872	555	100	98	98	99
山梨	562	1,420	7,980	6,300	98	103	101	101
長野	652	1,580	10,300	9,160	100	98	98	99
岐阜	1,270	1,250	15,900	14,300	98	106	105	104
愛知	1,180	1,290	15,200	11,700	99	97	96	93
奈良	1,810	1,890	34,200	31,600	99	113	112	111
和歌山	2,600	1,790	46,500	42,000	98	94	92	93
鳥取	290	950	2,760	2,200	99	86	85	85
島根	337	655	2,210	1,770	96	100	97	97
香川	194	619	1,200	903	97	101	98	96
愛媛	648	1,400	9,070	7,980	100	97	97	97
福岡	1,580	1,040	16,400	15,000	93	86	80	81

### 3 平成28年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 都道府県	結果樹面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹 面積	10a当たり 収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	19,300	85	16,500	12,100	97	104	101	103
うち 茨城	3,670	102	3,740	3,070	99	81	80	79
栃木	536	90	482	289	95	97	92	91
埼玉	678	91	617	400	100	85	85	85
千葉	423	79	334	215	96	88	84	84
神奈川	424	87	369	276	99	104	102	102
石川	139	85	118	90	94	97	91	87
長野	243	223	542	425	100	104	104	105
岐阜	435	171	744	573	88	94	83	84
大阪	146	76	111	86	95	94	89	88
兵庫	530	64	339	218	98	94	92	97
島根	109	58	63	33	91	121	109	106
山口	768	67	515	335	nc	nc	nc	nc
香川	54	50	27	13	100	104	104	108
愛媛	2,120	80	1,700	1,420	98	127	125	125
熊本	2,670	80	2,140	1,910	97	163	159	159
大分	420	83	349	285	97	154	150	148
宮崎	794	85	675	588	96	167	160	162

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業災害補償法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

### 2 調査の対象

#### (1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査の対象とする全国調査を5年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、その中間年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、全国調査年における出荷量の全国値のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

#### (2) 調査対象者の選定

##### ア 関係団体調査（全数調査）

調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

##### イ 標本経営体調査（標本調査）

2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培した農林業経営体から無作為に抽出（母集団名簿の栽培面積を昇順に並べ替え、栽培面積規模別に設定した標本の大きさに応じて等間隔に抽出する方法（系統抽出法）により抽出）をした。

#### (3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効 回収数 ②	有効 回収率 ③=②/①	母集団 の大きさ ④	標本の 大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効 回収数 ⑦	有効 回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
西洋なし	108	106	98.1	4,591	310	6.8	208	67.1
かき	159	157	98.7	24,343	1,134	4.7	816	72.0
くり	112	108	96.4	15,936	1,127	7.1	747	66.3

注：「有効回収数」は、回収があったもののうち、当年産において栽培がなかった標本経営体等を除いた数値である。

### 3 調査事項

#### (1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

#### (2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、収穫量及び出荷量

### 4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
西洋なし	平成28年9月～10月
かき	平成28年9月～12月
くり	平成28年8月～10月

### 5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。



## 6 集計方法

### (1) 都道府県値

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積りにより補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた結果樹面積、収穫量及び出荷量を基に算出した10a当たり収量（関係団体調査においては、標本経営体調査結果による自家消費等の量を勘案して算出）を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完し、これに結果樹面積を乗じて算出している。なお、調査結果により算出した各都道府県の10a当たり収量は、調査対象品目について関係団体取扱数量の割合がおおむね80%以上の場合は関係団体調査結果を、おおむね80%未満の場合は標本経営体調査結果を採用している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。

### (2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成26年産の調査結果を用いて次により推計した。

#### ア 結果樹面積

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

注：「栽培面積」は、『平成28年耕地及び作付面積統計』（農林水産省統計部）による。

#### イ 収穫量及び出荷量

$$\text{当年産の全国値の推計値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

## 7 目標精度

本調査において、目標精度は設定していない。

## 8 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

## 9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6桁 (10万)	5桁 (万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数（下から）		2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

(2) 表中に用いた記号は、次のとおりである。

「nc」：計算不能

(3) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成28年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量」（農林水産省）による旨を記載してください。

## 10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（平成29年12月予定）するとともに、その後刊行する『平成28年産果樹生産出荷統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

## 【ホームページ掲載案内】

○ 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「果樹」に分類しています。

## 【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

### お問合せ先

#### ◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 園芸統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3680

（直通）03-6744-2044

FAX： 03-5511-8771

#### ◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>